



第 2 号

発行  
秩父市議会  
編集  
市議会だより編集委員会  
秩父市議会事務局  
☎ (21)3030  
FAX(21)3023  
URLhttp://www.city.chichibu.saitama.jp/

**7月 臨時会** 7月15日

市道の廃止について…………… **原案可決**

秩父市立荒川中学校体育館改築工事契約の締結について… **原案可決**

秩父市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例… **原案可決**

平成17年度秩父市水道事業会計補正予算(第1回)… **原案可決**

秩父市議会7月臨時会は、7月15日の1日を会期として開かれ、市長から4件の議案が提出されました。

○議案第66号 市道の廃止について

大滝地域に位置する44件の市道については、滝沢ダム建設に伴う事業用地内の市道について存置する必要がないため、市道を廃止することについて議決を求めました。

○議案第67号 工事契約の締結について

秩父市立荒川中学校体育館改築工事の請負契約の締結することについて議決を求めました。

・工事名

秩父市荒川中学校体育館改築工事

・施工箇所

秩父市荒川日野23番地外内

・履行期限

平成18年3月24日

・請負契約

金252,000,000円

・請負業者

秩父市中村町四丁目1番3号

株式会社 高橋組

代表取締役 高橋信一郎

○議案第68号 秩父市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例

卸売市場法及び埼玉県卸売市場条例の改正に伴い、秩父市公設地方卸売市場条例の一部を改正する。

○議案第69号 平成17年度秩父市水道事業会計補正予算(第1回)

以上4件の議案を審議しました。上程された議案は、原案可決されました。

審査した議案の結果

7月臨時会

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	新政会	共産党	平政会	公明党	新社会
第66号	市道の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第67号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第68号	秩父市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第69号	平成17年度秩父市水道事業会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
市民ク (市民クラブ 34名) 新政会 (秩父新政会 10名) 共産党 (日本共産党 5名) 平政会 (平政会 4名) 公明党 (公明党 3名) 新社会 (新社会党秩父市議団 2名) ※議長は会派に属さない			○ 賛成 × 反対					

# 9月 定例会

9月20日～10月5日

秩父市立吉田中学校建設、一般会計補正予算等27件…原案可決  
 吉田地区・辺地8地域の総合整備計画……………原案可決  
 秩父市歌の制定、秩父市の花「シバザクラ」、木「カエデ」、鳥「オオルリ」の指定…原案可決  
 平成16年度旧秩父市、旧吉田町、旧大滝村、旧荒川村、各決算30件を  
 4決算審査特別委員会に各々付託する



秩父市議会 9月定例会

秩父市議会9月定例会は、9月20日から10月5日までの16日間を会期として開かれました。

9月定例会で審議した議案は、初日(20日)市長から提出された54件の議案のうち初日に12件を即決審議し、最終日(5日)に追加議案2件、議員から提出された3件の議案、合計59件の議案です。

また、市政全般に対する一般質問に18人の議員が登壇し、市政発展のため活発な論議が展開されました。

上程された議案は、承認および原案可決されました。

なお、継続審査になった平成16年度旧秩父市・旧吉田町・旧大滝村・旧荒川村の各会計決算議案は、各決算審査特別委員会を設置し、閉会中に審査を行います。

議員提出議案の3件でそのうち秩父市議会の議員の定数を定める条例は否決されました。

## 9月定例会 会期日程

9月  
20日 開会

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定 ○諸報告

- 市長提出議案の報告

- 議案第101号及び議案102号一括上程、即決

- 議案第103号及び議案104号一括上程、即決

- 議案第105号上程、即決

- 議案第106号から議案108号まで一括上程、即決

- 議案第109号上程、即決

- 議案第110号上程、即決

- 議案第111号上程、即決

- 議案第112号上程、即決

- 議案第70号から議案第100号及び議案第113号から議案第123号まで一括上程、説明

- 21日 休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

- 22日 休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

- 23日 休会(祝日)

- 24日 休会(土曜日)

- 25日 休会(日曜日)

- 26日 議案に対する質疑

- 議案の委員会付託

- 27日 請願・陳情

- 市政に対する一般質問

- 28日 市政に対する一般質問

- 29日 市政に対する一般質問

- 30日 委員会

- 10月
- 1日 休会(土曜日)

- 2日 休会(日曜日)

- 3日 委員会

- 4日 休会(事務整理)

- 5日 委員長報告

- 委員長報告に対する質疑

- 討論 ○採決 ○閉会

審査した議案の結果

9月定例会

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	新政会	共産党	平政会	公明党	新社会
第100号	専決処分について(平成17年度秩父市一般会計補正予算(第1回))	承認	○	○	○	○	○	○
第101号	埼玉県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第102号	埼玉県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第103号	埼玉県市町村消防災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第104号	埼玉県市町村消防災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第105号	秩父広域市町村圏組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第106号	西秩父衛生組合の解散及び財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第107号	小鹿野町と秩父市のし尿処理等に関する事務の委託について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第108号	秩父市吉田戸別合併処理浄化槽の設置及び管理等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第109号	秩父市簡易水道から小鹿野町地区への給水について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第110号	秩父市立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○	○
第111号	平成17年度秩父市一般会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第112号	平成17年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第113号	辺地に係る総合整備計画を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○
第114号	市道の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第115号	市道の路線変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第116号	秩父市融資審査会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第117号	秩父市在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○	○
第118号	平成17年度秩父市一般会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第119号	平成17年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第120号	平成17年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第121号	平成17年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第122号	平成17年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第123号	平成17年度秩父市水道事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第124号	秩父市歌の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第125号	秩父市の花、木及び鳥の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第11号	秩父市議会の議員の定数を定める条例	否決	×	○	×	×	×	×
議員提出議案第12号	石綿飛散防止等の対策を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第13号	米国産牛肉の拙速な輸入再開を行わず、BSEの万全な対策を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
市民ク (市民クラブ 34名) 新政会 (秩父新政会 10名) 共産党 (日本共産党 5名) 平政会 (平政会 4名) 公明党 (公明党 3名) 新社会 (新社会党秩父市議団 2名) ※議長は会派に属さない			○ 賛成 × 反対					

# 市民の声を市政に反映

## 一般質問

9月定例会における市政に対する一般質問は、9月27日、28日、29日の3日間で、市政全般について、質問が行われました。

登壇した議員は18名で質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問者発言氏名  
質問については各委員会別に分類し、要旨を掲載しました。(質問者は右から発言を行った順)

江田 治雄	加藤 孝志	新井 康一	笠間 光吏	出浦 章恵	落合 芳樹	今井 武藏	富田 恵子	山中 進
嵩 暉郎	上林 富夫	横田 喜介	新井 喜男	金崎 昌之	加藤 清一	坂本 文雄	木村 操	(二名原稿不提出)

### 総務関係

#### 協働のまちづくりへの取組

**問** 現状と市政への市民参加等  
**答** 協働の意義等研修会、市民、市職員の協働の啓蒙と活力あるまちづくり体制作りを市政に反映。

#### 地域防災計画の早急な対応等

**問** 計画の指導体制の必要性は。  
**答** 本年中に新秩父市地域防災計画を作成、自主防災組織活動を促進し、チラシ等により周知。

#### 新市まちづくり計画の諸施策実施計画

**問** 秩父市総合振興計画の推進状況と、旧市町村の振興計画との関連  
**答** 各部会により検討策定し、18年度中に策定し提示する。

**問** 旧市町村の振興計画は、合併協議会で検討されている。  
**問** 秩父市行政改革大綱の推進状況  
**答** 17年から21年の年度展開で、本年度中に提案する。

#### 和銅千三百年記念事業

**問** 和銅奉獻千三百年の記念事業を秩父振興策として取り組み等は。  
**答** 和銅遺跡の保存管理は黒谷地域の和銅保勝会が取り組み記念事業は、地元を中心に実行委員会を結成し歴史的事業を実施。秩父から全国へ情報発信。



和同開珎モニュメント

#### ダム の 固定資産税と 地方交付税

**問** ダムの固定資産税額が地方交付税で調整減額の仕組みは。  
**答** ダムの固定資産税額の75%が、基準財政収入額に算入される。交付税は、基準的規模の行政に必要な基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いたものが交付される仕組みである。

#### 総合支所の市民への対応について

**問** 支所の役割、権限は明文化されているのか。また本庁、支所の職員のコミュニケーションはどう取っているのか。  
**答** 明確に役割は決まっている。また担当ごとに本庁・支所間で連絡会を密接に行っている。

#### 大滝中津川市道幹線の 県道編入

**問** 大滝17号県道編入見直し  
**答** 出合からふれあいの森2.1km区間用地確定時に昇格。編入は段階的に検討し、分筆作業は引き続き推進。



中津川の出合

#### 「2007年問題」について

**問** 当市には、「団塊の世代」の人は、どのくらいいるのか。  
**答** 3,757人(人口の約5%)で、市職員は129人。  
**問** 再来年以降3年間の財政状況は、どのように推測されるか。  
**答** 大変厳しい状況だが、団塊の世代が定年を迎えても、直ちに多額の財政負担を必要とする事態にならないと考える。  
**問** 定年後も活躍してもらおう支援はあるか？  
**答** 国・県と連携し、高齢者の知識・技能の有効活用が図れるように努めていきたい。

#### 職員に関する質問

**問** 職員の減員数、毎年9名を9年間というのは遅くないか。  
**答** この人数が一番、適当であると思われる。  
**問** 夫婦での勤務は何組か。  
**答** 職員800余名の内64組。  
**問** 職員研修の一環として自衛隊への体験入隊の考えは。  
**答** 新人研修は市による研修はもちろん、県による研修も行っている。また、研修は内容が意義あるものでなければならぬ。

### 旧消防署跡地整備事業について

**問** 昨年度から花の植栽と周辺整備を行っておりますが、近い将来地元の要望である番場町会の屋台蔵等の施設を考慮して頂けるでしょうか。

**答** 地元番場町会や商工会議所からもそれぞれ当地の利用についての要望がありますが、今後地域の活性化を図る施策として検討していきたいと思えます。



旧消防署跡地

### 移動通信網の整備について

**問** 携帯電話が利用できる地域の拡大と不感地域の解消が、今、求められているが。

**答** 災害に強い地域となるようアピールしたい。幸い来年度事業として、大滝中津川地域にKDDIが参加し整備される。

### 地上デジタル放送時代に向けて

**問** テレビの難視聴地域、行政手続きや防災情報伝達にどのような変化があるのか。

**答** 困難な面もあるが、防災情報、行政手続き等、効果的に行う。難視聴地域について、早急に市として対処していく。

### 滝沢ダム周辺整備の促進

**問** 計画の進捗状況と雇用、所得向上等に配慮した計画取組は。

**答** 県が事業主体で今年度設計二年計画でセンター棟等の建設今後の対応は検討委員会を取組。



滝沢ダム周辺

### 防災システムについて

**問** 川を利用してスポーツ、レクリエーションを楽しむ人が増えている、滝沢ダム建設に伴い防災のためのサイレンの設置について。

**答** 既に荒川水域に設置されている所もあるが46か所に増やし、玉淀まで設置し防災に努めていく。



荒川河川の放流警報設備

### 大滝地域振興対策

**問** 花、紅葉を生かす植栽振興。現状を踏まえより効果的な総合振興策を視野に入れ行う。

### 主要施策

**問** 新秩父市の18年度主要施策4地域の重点施策集約提起。

## 建設関係

### 仮称大滝トンネルについて

**問** 仮称大滝トンネルの今後の要望活動について。

**答** 仮称大滝トンネルについては新市まちづくり計画の新市内二十分道路整備プロジェクトに位置付けられている重要な路線であり、早期開設に向け埼玉県に強く要望する。市長を先頭に全市議会議員及び市職員等で見守り活動を通じていく。大滝地域の事情と必要性を踏まえ、早期開削を西関東連絡道路の整備状況を見ながら要望していく。

### 国道299号のバイパス促進

**問** 国道140号から市街地へのアクセスと国道299号バイパス促進について。

**答** 県、国と協議を重ね最適ルートを検討し取り組むたい。

### 県道石間、吉田線改良

**問** 県道石間、下吉田、下日野沢、門平、吉田線改良について

**答** 早期全線改良されるよう引き続き関係機関に要望していく。

### ドクターヘリ運航と今後の対応

**問** 太田部地区の様な辺地にヘリポートの建設はできないか。

**答** 現状では極力既設ヘリポート利用、緊急の際に着陸できる場所は、必要に応じて別途協議し対策を考え推進する。



埼玉県秩父防災基地

### 滝沢ダム周辺整備完成後の利活用計画

**問** ダム周辺全体の利活用

**答** 地域資源を活用した観光交流の拡大、特産品の開発等、源流を舞台とした上下流交流等で地域の自立的・継続的な発展につなげていきたい。

**問** 既存観光スポットを含めた利活用

**答** 既存観光スポットや観光資源を結びつけた、秩父ならではの観光コースを構築しているが、滝沢ダムを中核としたルートの構築等も研究していきたい。

# 生活環境経済関係

## 住宅リフォーム資金助成制度

**問** 今年度の利用状況と今後の市民への普及対策は。

**答** 現在503件。伸び悩んでいる。市報で追加募集をした。

**問** 来年は前年並みの補助率と金額に戻すべきではないか。

**答** 今後検討したい。

## 自然再生協議会立ち上げ

**問** 環境NPO団体が、自然再生推進法による秩父地域の自然再生に取り組んでいる。法に基づく協議会を立ち上げ再生事業計画を策定する段階にあるが、事務局整備が課題となる。市の事務局担当部の要員増強、仮称自然再生課の設置等望みたい。

**答** 自然再生協議会には、関係地方公共団体の参加が条件となっているので、立ち上げには積極的に協力したい。市に事務局は、要員確保や課の新設については大変難しい状況。県の動向等踏まえながら研究したい。

## シカ等食害対策

**問** シカ等の食害から森林と水をどう守るか。被害の現状と対策、秩父山地縁の回廊踏査、埼玉県の方針、雁坂峠一帯、大洞川分収林、大血川東谷、中川国有林、浦山国有林、秩父市有林のシカ、クマ等の被害は極めて深刻。また、吉田、久那、黒谷、荒川も被害多く、その対策を早急に。

**答** シカ等の被害は広範で、県国と連携、その防除対策取り組み中、シカ食害は増大し、生態系の保護等、県、都に働きかけ埼玉県が推進の要となるよう要請。また、中川国有林の列状間伐地に広葉樹を10月1日植林。

## 遊休農地の活用

**問** 遊休農地活用対策の現状と今後、地域観光について

**答** 遊休農地に係る事業推進、地域の特性を生かし、景観作物を推進し、景観保全や花と緑の地域づくり支援をして行く。

## 山に適した樹木の調査を

**問** 埼玉県は「みどりの環境税導入」に動いている。秩父市は埼玉県の森林の40%を保有している環境税導入時に健全な山づくりの基本計画を示すためにも、山に適合した樹木・植樹の調査を。

**答** 東京大学と秩父市に山の形状調査を埼玉県より委託されている。植樹の樹種を含めて長期化するが、荒川下流域の方々にみどりと清流を守る指針が示せるように調査・研究を行う。

## 聖地公園西北側杉林の管理

**問** 杉林については、間伐や枝おろし等をして環境整備を。

**答** 今後は、予算が伴うことでもあり、費用対効果を考慮しながら、間伐や枝おろし等を適切な管理をしていく。



雁坂峠のシカの食害



道の駅「ちちぶ」のトイレ

また、市で計画しているバイオマス施設での利用も可能かどうか関係部所と協議して参ります。

## 公共トイレの整備

**問** 公共トイレの全体をだれもが使える「多目的トイレ」等へ改修・整備する考えは。

**答** 公共施設内トイレは今9月補正予算で改修。新設や未整備のところも設置・改修を予定。

**問** 環境・観光秩父市をアピールできる「バイオトイレ」の普及は。

**答** バイオトイレは環境保全上好ましい。推進に努める。

## 観光施設、駅トイレの水洗化

**問** 構内トイレは汲み取り式で老朽化し不衛生で障害者対応トイレも無いので新設を。

**答** 本年度、補正予算をお願いして、秩父鉄道(株)と協議を進めた結果、黒谷、大野原、浦山口及び白久駅の水洗化を本年度の事業として行う。

## クールビズについて

**問** クールビズは徹底できたか。

**答** 市民の協力により成果あり更に来年も実施していきたい。

## アスベスト対策

**問** 公共施設以外の実態調査も行っているか。アスベスト製品の元製造工場周辺住民や建設労働者の健康調査は行うか。専門医との連携はどうか。市民の相談窓口は設置されているのか。

**答** 民間は県が聞き取り調査をする。健康調査はしていない。建設労働者は市報で注意を喚起する。医療機関は問い合わせに対応する。相談会を市報に掲載予定。

### アスベストについて

**問** 市内の公共施設で使用されている現状の把握をどこまで調査しているか。また、その結果を踏まえどう対応して行くのか。

**答** 市内8か所の施設で吹付けアスベストの使用、または使用の疑いがあることが分かり既に飛散防止措置をした。更に早急に環境測定や含有を業者へ依頼し対応する。

### 秩父市のアスベスト対策は

**問** 一般家庭で使用されているもののアスベスト相談窓口の市民への通知や大きな工場を壊す時の飛散防止策や指導は。

**答** 家庭使用品の通知と相談窓口は市民に知らせる。工場を壊す時は法規制により指導する。

### 石綿による健康被害について

**問** じばさん二階機械室は使用禁止となっているが調査結果は。

### バイオマス施設整備

**問** バイオマス、コジユネ施設整備について、騒音対策は？

## 文教福祉関係

**答** 周辺の環境調査を実施、十分な対応を考えて対処する。

### 二学期制導入について

**問** デメリットを保護者にどのように説明し、どのように改めしていくのか。

**答** デメリットの例として、「通知票が夏休みに入る前に渡されないと夏休み中の学習目標が持てないのでは。」と学習面の不安がありますが、長期休業前に三者面談等を実施したり、通知票に代わる、学習状況資料等で不安の解消に努める。

### 一学期制

**問** 秩父第一中のアンケート結果を見ても分かるが、保護者と生徒のどちらにも不評であり、現場の教育の意見もメリットがあいまいだと不評である。説明の上、合意を得て意見を求める余地はあるのか。

**答** 導入に対する不安等の解消に向けて今後も鋭意努力する。

### 吉田中学校の改築安全対策

**問** 吉中改築、仮校舎建設と、

生徒への安全対策について。仮校舎については検討中安全対策として進路の新設。



吉田中学校

### 吉田中学校の施設

**問** プール設置の見通し。校舎の建て替えと進路の見通しは。

### 教育行政について

**問** 部活の選択肢が少なくなっている中学校で、通学区域を弾力化および学校選択制を導入したらどうか。

**答** 学校選択制を進める考えはないが、通学区域の弾力的運用については、通学距離等を勘案した場合に適切であるかどうか教育委員会として検討していきたい。

### 学校教育の充実について

**問** 秩父市児童生徒の各種大会参加負担金交付要綱の見直す考えがあるか。

### 秩父大好き人間

**問** 秩父大好き人間の教育施策。歴史、環境第6項取り組み好評。

### 秩父市スポーツセンターの活用について

**問** 7月にオープンし、中高生の放課後の利用、または二階等を利用しての文化的な講座がでないか。

**答** 2000人以上の人に利用されている。中高生もおおいに活用できるようにする。文化的な講座にも活用していく。



秩父市スポーツセンター

### 大滝地域の伝統芸能育成対策

**問** 伝統芸能継承の指導体制は。

### 歯科保険計画

**問** 8020運動推進のため、歯科保険計画の充実、女性の生涯における口腔のケアの考えは。

### 登下校児童の対策は

**問** 先生と児童との信頼関係づくりが必要であり、学校での取り組みは、ひまわり教室の移転は。

**答** 教育委員会は「なおそうとせず、わかろうとせよ」を合言葉で生徒に接するよう対応をしている。また、ひまわり教室は生徒に配慮した所を検討する。

### 児童生徒の登下校防犯対策

**問** 子どもたちに「防犯ブザーを鳴らしたら駆けつけてくれるの？」との不安がある。市民へ周知徹底が必要。

**答** 防犯ブザーについては、今後も引き続き周知徹底に努める。

**問** 長距離登下校には、スクールバスの積極的運行等きめ細かな防犯対策を。

### 中学校教育

**問** 二学期制にすると授業時間は年間、どのくらい増えるのか。

**答** 約30時間、多くなるので勉強ばかりでなく、充実した学校生活を送れる。

**問** 合併イベントのジャイアントバルーンはどんな材料で出来ているのか。

**答** バルーンの材質は和紙などでできており環境破壊にはならない物でできている。

**問** 学力向上の面から男女別学級を実施する考えは。

**答** 教育法の第5条に男女共学が義務付けられておりできない。

### 児童生徒の市内資料館等の利用

**問** 市内の児童生徒の利用は無料にとの要望にどう応えるか。

**答** 学習の機会を広げるよう無料パスポート等検討したい。

### 介護保険について

**問** 改正された介護保険制度の施設給付費の見直しについて。

区分の変更と新予防給付、地域支援事業、保険料・利用料について。

**答** 低所得者に負担増とならないよう配慮されている。

市独自の制度創設、保険料・利用料の減免など、介護保険事業計画策定委員会等の意見を聞いて今後検討していきたい。

### 小児救急体制

**問** 現在、郡市医師会のご協力を頂き輪番対応をしている。市立病院は設備も整っている。秩父地域の核となる必要があるが、郡市医師会から輪番制々度を見直し論が出た場合は、行政として今後如何するのか、市長の考えは。

**答** 今までご理解を賜った郡市医師会の皆様方にも相談して中核病院として場所だけは市立病院が引き受けていき、市立病院に行けば小児医療が整えてある方向が市民の理解を得られると思う。来年2月の機能評価の結果、不足を補い、体制を整えて住民に安心安全な医療圏に住んで

いるという心構えを持たれるようになるのか、研究していく。



(社)秩父郡市医師会

### 子育て支援について

**問** 子育て支援の一環として中学校卒業まで新市内の子どもたちの医療費を無料にできないのか。

**答** 乳幼児医療費の年齢拡大実施は、財政負担が大で、難しい課題だ。「子育てに喜びを実感できるまち」の実現に向け前向きに検討したい。

### 子育て支援

**問** 中小企業の子育て環境整備の支援は。

**答** 来年度より予定されている中小企業で育児休業取得者が、初めて出来た中小企業事業主への助成金支給制度や、県の「子育て応援宣言企業」の周知をはかり、子育て支援に取り組む。

### 教室の天井高の引き下げ

**問** 教室の天井高の規制が廃止されると聞いているが、今後の校舎建設のコスト削減等影響は。

**答** 規定の改正後、建設コスト室内環境等を検討し、計画する。

### じばさん内ハローワークの充実

**問** 開設から半年、その利用状況は。

**答** 拡充後利用者が増加。男性や若年者が増える等利用層も変化。

**問** 土曜開庁など、利用環境改善に向けた働きかけは。

**答** 土曜開庁は、利用者の意見を聞いたうえで要望したい。



じばさん内ハローワーク

### 公共施設の禁煙

**問** 公共施設の受動喫煙指針は、指針はない。公立保育所7

か所児童館、星の子教室は敷地内全面禁煙



大滝歴史民俗資料館

# 会の動き

9月定例会における常任委員会は、9月30日、10月3日の日程で行われました。

議案の付託先は、総務委員会に議案3件、建設委員会に議案5件、生活環境経済委員会に議案4件・請願2件、文教福祉委員会に議案3件が付託され、それぞれ慎重審査されました。

なお、審査の内容については下記のとおりです。

## 総務委員会

◆専決処分について(平成17年度秩父市一般会計補正予算(第1回))

◆辺地に係る総合整備計画を定めることについて

**問** 飲料水供給設置事業について、5年間で整備ができるのか。  
**答** 半納、沢戸、中郷地区を併せて行うもので、十分調査を行い、平成20年度から着手し、計画期間内に竣工できるように努力してまいります。



秩父市石間地区の辺地現地調査



秩父市石間地区の辺地現地調査

◆平成17年度秩父市一般会計補正予算(第3回)(所管費目)

施策推進事業費の夢多きちちぶっこ全員集合イベントおよび、二学期制について両者について議論された中で、子どもたちや授業時間減の影響や、事業については費用対効果としても疑問があるとの意見がだされました。

本案は当局の説明を了とし、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上委員会の審査の概要と結果について申し上げますが、審査した議案3件のうち、承認すべきものと決定したもの1件、原案のとおり可決すべきものと決定したもの2件であります。

## 建設委員会

◆市道の認定について

中央633号線(相生町地内)  
 原谷414号線(大野原地内)  
 原谷415号線(大野原地内)



市道 633 号線の現地調査



市道 414・415 号線の現地調査

◆市道の路線変更について

尾田時429号線(時田地内)

◆平成17年度秩父市一般会計補正予算(第3回)(所管費目)

◆平成17年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成17年度秩父市水道事業会計補正予算(第2回)

**問** 営業費の補正額140万円8千円の内容について。

**答** 合併に伴う水道料金調定事務の増加に対処するための臨時職員雇用の賃金である。

**問** 大滝の水道業務の臨時職員の賃金なのか。

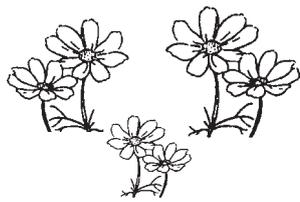
**答** 大滝の臨時職員ではない。秩父と吉田の公営企業の臨時職員の賃金である。

以上5件はいずれも当局の説明を了とし、原案のとおり可決。



市道 429 号線の現地調査

# 各常任委員



## 生活環境経済委員会

◆秩父市融資審査会条例の一部を改正する条例

**問** 改正の詳しい内容は。

**答** 個人情報保護の保護条例により、個人の秘密・利益を保護することが必要であり、秘密の保護を強化すること。また、融資条例があつたのが旧秩父市だけであつたため、吉田、大滝、荒川の案件が出た場合に備え、各地域の商工会などの有識者を新たに委員としたい。更に、融資に対する市の補償責任があることから、市の代表として助役を委員に加えた。

◆平成17年度秩父市一般会計補正予算(第3回) 所管費目

**問** バイオマス事業研究費について、研究期間は、施設の整備予定は。

**答** 研究事業は、山から木を切り出す費用や山も活きてきて花粉も減つて、良い水ができるなどまで研究するので、数年かかる。

施設整備は、年度内に着手して来年の秋頃の完成を目途に進めている。発電量は、100キロワットのを計画している。

**問** 労働諸費の中の講座講師委託料の内容は

**答** メンタルヘルスに係る委託料で、労働団体については、毎年県が出前講座を開いていたが、今年度は開催予定がなく秩父市での開催を依頼された。近年雇用不安などのストレスを抱える人が多いことから、秩父市で講座を開くこととした。

**問** 森林管理道新設改良事業の栃本支線舗装と槌打線の内容は

**答** いずれも、延長600メートル、幅員4メートルで計画している。

◆平成17年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆平成17年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第1回)

以上4件はいずれも当局の説明を了とし、原案のとおり可決。

## 文教福祉委員会

◆秩父市在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例について、

当局から議案の説明に伴い『本会議において、減額の補完の考えは有りますか。との質問に對しまして、「市独自では考えていません。」と答弁を申し上げましたが、その後助けあい温もりのまちづくりの立場から減額の補完を含めて障害者施策を検討するようにとの指示がありましたので、今後調査、研究を行つて行く」と説明がありました。

本案を審査する中で、県の条例が変わり一律に支給をカットすることに對しては、障害者は健康者に比べ一般の生活でも非常にお金が掛かる部分も多くなると憲法25条で保障された文化的最低限度の生活をするのには、あまりにも障害者に対する福祉が冷たいのではないかと。との反対の意見が出されました。

一方、高額所得者を除く低所得者を優遇できる手当の支給について要望することで、賛成との意見が出されました。

◆平成17年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第1回)

以上2件はいずれも当局の説明を了とし、原案のとおり可決。



バイオス吉田元気村建設予定地



吉田中学校の現地調査

### 議会運営委員会

◆在任特例後の秩父市議会議員の選挙について 議員定数を30名より数名減員した定数にすることを求める請願書

この請願は、6月定例会において付託され継続審査となっていた請願です。

この請願に賛成の意見として、行財政改革には、議員の削減は必要である。

また、他市の人口と議員の割合を見ても定数30人は多い、この請願は願意妥当であり採択すべき、との意見が出されました。一方、反対の意見として、今回合併後最初の選挙であり、4年間は減員すべきではない。

また、合併という特殊事情の中に秩父市はあり、住民の意見を市政に反映させるためにも、旧町村の代表が多く選出されたほうがよいと思われるので、この請願には賛成できない。

ただし、行財政改革を実施するの、合併の大きな目標であり、この請願の趣旨を十分尊重し、合併の諸問題が一段落するであろうと思われる4年後の選挙は、他市等の状況を踏まえた定数にすべきである。との意見が多数出されました。

本件は、挙手採決の結果、挙手少数により不採択とすることに、決定しました。

### 危機管理・ダム対策特別委員会

危機管理・ダム対策特別委員会は、去る6月定例会において、議会提出議案により、12人の委員で構成、設置された。

本委員会に付託されました調査事項は、危機管理にかかわる諸対策。4ダム(浦山ダム、滝沢ダム、二瀬ダム、合角ダム)にかかわる諸対策。危機管理・ダム対策にかかわる調査研究。以上3項について決定。

第1回委員会(7月8日)  
危機管理の言葉の認識。  
自然災害の危機管理。

市内の道路の通行止め対策。  
災害時の通信対策。

ダム対策にかかわる諸対策。  
第2回委員会(7月15日)

危機管理については、自然災害が、発生した場合の対策。

世界的に異常気象の中の自然災害、阪神淡路大震災(平成7年1月17日)新潟県中越地震(平成16年10月23日)大型ハリケーン「カトリーナ」(平成17年8月29日)など、大災害の発生時の対策。

ダム対策の現状と今後の対策。浦山ダムの濁り水対策。滝沢ダム周辺整備事業対策。ダムの貯水池周辺地山の安全性対策。管理設備や制御装置および市民の飲料水の安全対策。台風時のダムの対応策。4ダム水位、降雨の状況をテレメーターを使用しての監視対策。



滝沢ダム掘水式



滝沢ダム



合角ダム



浦山ダム



二瀬ダム



10月21日 旧秩父市決算審査



10月17日 旧荒川村決算審査

### 決算審査特別委員会の設置

9月定例会において委員会に付託された30件の議案については、特別委員会を設置し継続審査となりました。

議案の付託先は旧秩父市決算審査特別委員会に議案12件、旧吉田町決算審査特別委員会に6件、旧大滝村決算審査特別委員会に6件、旧荒川村決算審査特別委員会に6件が付託されました。

旧吉田町 決算審査特別委員会	
職名	氏名
委員長	加藤 仁男
副委員長	和久井一夫
委員	新井 康一
	落合 芳樹
	井嶋二三八
	小櫃 市郎

・議案第81号 平成16年度吉田町一般会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第82号 平成16年度吉田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第83号 平成16年度吉田町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第84号 平成16年度吉田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第85号 平成16年度吉田町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第86号 平成16年度吉田町水道事業決算の認定について

旧秩父市 決算審査特別委員会	
職名	氏名
委員長	山中 雅文
副委員長	金田 安生
委員	出浦 章恵
	高野 安之
	富田 恵子
	金崎 昌之
	逸見 英昭
	笠間 光史

・議案第70号 平成16年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第71号 平成16年度秩父市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第72号 平成16年度秩父市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第73号 平成16年度秩父市市営競輪特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第74号 平成16年度秩父市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第75号 平成16年度秩父市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第76号 平成16年度秩父市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第77号 平成16年度秩父市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第78号 平成16年度秩父市水道事業決算の認定について  
 ・議案第79号 平成16年度秩父市立病院事業決算の認定について  
 ・議案第80号 平成16年度秩父市衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第99号

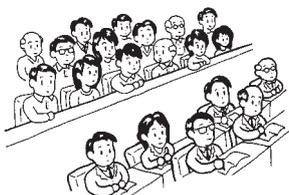
旧荒川村 決算審査特別委員会	
職名	氏名
委員長	若林 富雄
副委員長	木村 操
委員	深田 一夫
	笠原 宏平
	江田 治雄
	畷田 富雄

・議案第93号 平成16年度荒川村一般会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第94号 平成16年度荒川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第95号 平成16年度荒川村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第96号 平成16年度荒川村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第97号 平成16年度荒川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第98号 平成16年度荒川村戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について

旧大滝村 決算審査特別委員会	
職名	氏名
委員長	加藤 清一
副委員長	宮田 勝雄
委員	山中 進
	新井 喜男
	横田 喜介
	山中 将市

・議案第87号 平成16年度大滝村一般会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第88号 平成16年度大滝村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第89号 平成16年度大滝村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第90号 平成16年度大滝村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第91号 平成16年度大滝村戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
 ・議案第92号 平成16年度大滝村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

### ● 市議会を傍聴してみませんか ●



市議会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回の定例会と必要に応じ臨時会が開催され、市民の皆さんに直結した議案・請願等を審議します。

市民の皆さんが選んだ代表がどんな活躍をしているか、市議会を傍聴してみませんか。

※次の定例会は11月30日開催予定です。



10月21日 旧吉田町決算審査



議員提出議案第12号  
石綿飛散防止等の対策を求める意見書

石綿を材料とした製品を製造・使用している企業の社員や家族、近隣住民が、悪性中皮腫で死亡した事実が相次いで明らかになっています。

また、製造企業の労働者の悪性中皮腫がクローゾアツプされていますが、石綿飛散による肺がんの死亡者は、悪性中皮腫の倍の人数にのぼる一方で、労災認定率は悪性中皮腫の半数と低く、肺がんに対する対応が早急に必要になっています。石綿に関する輸入・製造・使用・在庫・除去後の石綿廃棄物等の緊急調査を実施し、公表することを求めます。また、石綿の製造・使用等の全面禁止、在庫回収、安全除去などの被害防止対策の徹底を早急に図ることを求めます。

石綿被害は、製造企業のみならず、製品を使用していた造船、自動車、建設、港湾、運輸など多くの業種に広がっています。こうした仕事に従事した労働者、事業所の近隣住民、家族の二次被害など、被害は私たちの予想を遥かに超える様相を呈しています。また、石綿を使用していた建築物の解体による石綿飛散の危険も広がり、石綿障害予防規則にもとづく対策の強化が求められています。石綿の労災認定を抜本的に見直すと共に、国民の健康被害者を救済する新たな救済制度を早急に実現するとともに、石綿使用施設の解体作業等による新たな被害の発生防止に、万全の対策を実施することを求めます。

全国の学校施設に於ける石綿製品の使用実態の再調査を実施し、完全撤去を徹底することを求めます。

すでに、各地の自治体が積極的な調査や相談窓口の設置や総合対策に乗り出していますが、石綿被害者の救済と被害の防止・根絶のために、政府関係省庁一体となり、石綿飛散防止等の対策を行うよう要望します。

議員提出議案第13号  
米国産牛肉の拙速な輸入再開を行わず、BSEの万全な対策を求める意見書

国内でBSE（牛海綿状脳症）感染牛が確認されて以来、政府は、と畜される全ての牛の検査及び特定危険部位の除去、飼料規制の徹底等を行い、牛肉に対する信頼回復に努めてきた。また、2003年に米国でBSEの発生が確認されてからは、米国産の牛肉及び牛肉加工品の輸入を禁止してきた。

しかし、国内でも変異型クロイツフェルト・ヤコブ病を原因とする死者が発生するなど、依然としてBSEに対する国民の不安が続いている。BSEはその発生原因も科学的に十分解明されておらず、そうした中で全頭検査の見直しや米国産牛肉等の輸入再開は、消費者の不安を増大させるものである。よって、国においては、次の事項について特段の措置を講じるよう要望する。

記

1 米国産の牛肉等に対するBSE対策については、左記のような問題点があることから、拙速な輸入再開を行わないよう求める。

① 米国ではと畜される牛で、BSE検査を行っているのは全体の1%以下にすぎないこと。

② 生産・流通履歴をたどるトレーサビリティ制度が整っていないため、月齢の判定が正確に出来ず、現在、検討されている目視による骨化や肉質の状況での月齢判定は誤差を生じさせること。

③ 特定危険部位の除去では、日本はすべての月齢の牛の脳などの危険部位を除去し、焼却処分を行っているのに対し、米国は30ヶ月齢以上の牛に限られていること。

④ 米国では除去された特定危険部位は処分されず、肉骨粉の原料とされ、豚や鶏の飼料として流通している。このため、飼料の製造段階での混入・交差汚染や、使用時に誤って牛に与える危険性があること。

2 国内において、特定危険部位の除去に関する監視体制の構築、牛をと畜する際のピッシングの廃止、飼料対策を含めた対策強化を行うとともに、検査感を改良する技術開発を一層進めるよう要望する。また、各自治体で行う全頭検査に対して、財政措置を継続するよう求める。

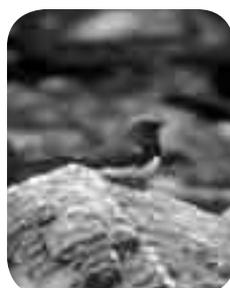
秩父市の花・木・鳥



花：シバザクラ



木：カエデ



鳥：オオルリ

編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 今井 武藏 |
| 副委員長 | 小池 和雄 |
| 委員   | 新井 康一 |
| "    | 富田 恵子 |
| "    | 坂本 文雄 |
| "    | 加藤 清一 |
| "    | 金田 安生 |
| "    | 加藤 仁男 |